

## 5. 相談支援体制の充実・強化

障害者（児）ニーズの多様化を踏まえ、きめ細やかで適切な支援のため、地域の実情に応じた関係機関の明確な役割分担と有機的な連携といった相談支援体制の充実・強化に向けて取り組みます。また、地域における相談支援の中核となる基幹相談支援センターの機能を強化するとともに、自立支援協議会を活性化します。

## 6. 障害福祉サービスの質の向上を図るための体制構築

令和5年度末までに、不正請求の未然防止等の観点から報酬の審査体制の強化等の取り組み、指導権限を有する者との協力連携、適正な指導監査等の実施などの目標を設定していきます。

## 障害児福祉計画（第2期）

### 1. 重層的な地域支援体制の構築

成果目標	考え方
(1) 児童発達支援センターの設置	本市においては、平成31年4月に、「市立ひらかた子ども発達支援センター」を開設しており、支援内容の一層の充実を図っていきます。
(2) 保育所等訪問支援の充実	本市においては、児童発達支援センター等で既に保育所等訪問支援を実施しており、支援内容について、地域における障害のある子どもたちへの効果的な支援を図り、障害児の在宅支援に努めるなど、一層の充実を図っていきます。

### 2. 主に重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所の確保

成果目標	目標数値	見込み方法
児童発達支援事業所	7か所	令和5年度末までの府域での目標値について、市町村ごとに按分された数値を踏まえるとともに、本市における事業所の設置状況を踏まえ、目標として設定します。
放課後等デイサービス事業所	9か所	

### 3. 医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場の設置

本市においては、管内の支援体制の現状の把握や、関係者の役割等の検討等を行うために、平成31年4月より協議の場を設置しました。また、医療的ケア児等コーディネーターを配置し、協議の場への参画他の活動を行っています。

## 障害福祉計画（第6期）・障害児福祉計画（第2期）の障害福祉サービスの利用見込み

- 自立支援給付の利用見込みと整備の方向
- 障害児支援サービスの利用見込みと整備の方向
- 地域生活支援事業の利用見込みと整備の方向
- 障害児の子ども・子育て支援等の利用

## 計画の策定体制と推進体制

計画の策定にあたっては、次のような市民の参加を得ながら、進めました。

- 枚方市社会福祉審議会及び障害福祉専門分科会での審議
- 枚方市自立支援協議会での審議
- 各種アンケート調査の実施
- 広く市民から意見を聴取するための取り組み

計画の推進にあたっては、本市が主体となり、国・府等の行政機関との連携を図るとともに、広く市民や関係団体等の協力を得ながら、施策の総合的、効果的な推進を図ります。

- 関係機関、市民等との連携及び計画の周知
- 枚方市社会福祉審議会
- 枚方市自立支援協議会
- 庁内の計画推進体制
- サービス提供体制の充実

## 資料 1

## 枚方市障害者計画（第4次）

## 概要版

## 枚方市障害福祉計画（第6期）・枚方市障害児福祉計画（第2期）

## 計画の概要

## 計画の背景及び趣旨

障害者（児）に関わる社会状況の変化や制度変更に対応するため、令和3年度までを計画期間としていた「枚方市障害者計画（第3次）」の終了年度を1年間短縮して、令和3年度から新たに「枚方市障害者計画（第4次）」、「障害福祉計画（第6期）」、「障害児福祉計画（第2期）」を一体的に策定することにより、本市の障害福祉施策の推進をめざすものとします。

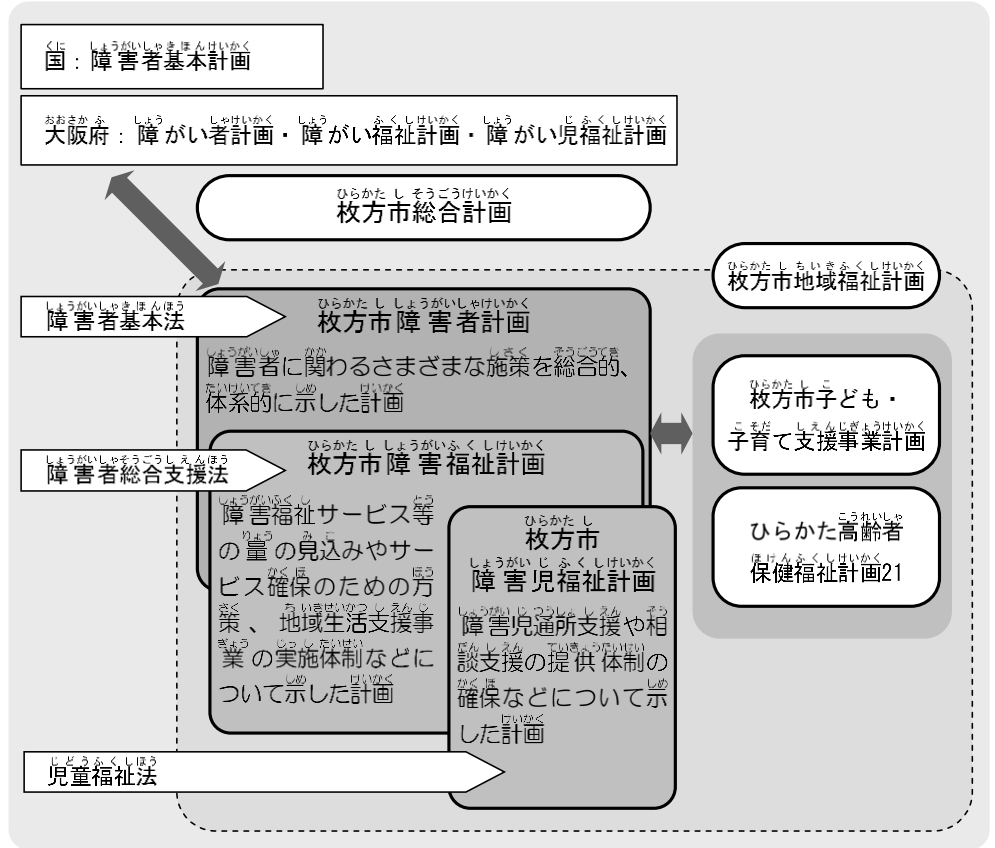
## 計画の位置づけ

これらの計画は、国や大阪府の計画内容、及び今後の動向を踏まえるとともに、市政の基本方針を示す「枚方市総合計画」、「枚方市地域福祉計画」を上位計画とし、他の福祉に係る計画をはじめとした、障害者等の福祉に関する事項を定める個別の行政計画とも整合性を図っています。

## 計画期間

「枚方市障害者計画（第4次）」の計画期間については、令和3年度から令和8年度までの6年間とします。

「枚方市障害福祉計画（第6期）」・「枚方市障害児福祉計画（第2期）」の計画期間については、令和3年度から令和5年度までの3年間とします。



	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
枚方市障害者計画		第3次（改訂版）				第4次				
枚方市障害福祉計画			第5期		第6期					
枚方市障害児福祉計画	第4期		第1期		第2期					

## 基本理念

- 障害のある人が、障害のない人と同じように、地域のなかで自立して生活できるようにします。
- 障害のある人が、市民社会の一員として、あらゆる社会生活に参加し、いきいきと活動できるようにします。

本市では、地域共生社会の実現のために、障害のあるなしに関わらず、すべての人が個人として基本的人権を尊重され、地域社会の中で自己決定に基づき、その人らしく生活できる社会を自ざしています。

しょうがいしゃけいかく　だいい　　し　さく　たいけい 障害者計画（第4次）の施策体系			
基本目標	基本方向	施策	施策名
地域との交流の推進	1. 多様な啓発の推進	(1) 人権・人命の尊重	●人権尊重のまちづくりへの総合的取り組み　●職員研修の実施
		(2) 虐待や差別の防止	●障害者の権利擁護と成年後見制度の利用援助の充実　●権利擁護のため の制度等の周知　●虐待への対応　●障害者差別解消法への対応
		(3) 合理的配慮	●障害者への理解を深める教育　●情報発信　●イベントの開催
	2. 地域との交流	(1) 地域福祉活動	●地域福祉活動の普及　●「地域福祉計画」の推進 ●ボランティア活動支援体制の整備　●ボランティア体験の推進
		(2) 地域交流の推進と居場所づくり	●交流機会の充実　●身近な居場所づくり
まちづくり	1. 公共施設の整備等	(1) バリアフリーの整備	●公共施設の整備・改善　●公園の整備・改善　●駅及び周辺のバリアフリー化 ●歩道環境の改善　●交通安全施設の設置　●福祉移送サービス ●グループホームの拡充・改善　●住宅改造成助成　●住まいに関する相談と情報提供
		(1) 保育・療育・教育の充実	●乳幼児健康診査の推進　●早期対応の充実　●療育の充実　●地域療育 の推進と地域との連携　●関係機関との連携　●保育と就学前教育の 充実　●放課後等デイサービスの充実　●日中一時支援事業の充実 ●留守家庭児童会室運営事業　●障害のある児童への教育の充実　●通学 支援の充実　●相談の実施と保護者との連携　●進路指導の充実
		(1) 自然災害	●避難行動要支援者の把握　●防災意識の高揚と地域での支援体制づくり　●ヘルパー の配布　●緊急通報装置の設置　●火災予防点検の推進　●災害時における要配慮 者の支援と福祉避難所の充実　●難病患者・重症心身障害児等への災害時対応
	3. 災害対策	(2) 感染症対策	●緊急通報時手話通訳派遣事業（タブレット端末を利用）
サービスの確保と提供	1. 地域生活への支援	(1) 福祉サービス提供体制の充実と質の向上	●訪問系サービス　●短期入所サービス　●日中活動系サービス　●グル ープホーム　●移動支援　●地域活動支援センター　●日常生活用具・補 装具　●高齢障害者の日常生活支援　●福祉事業者の指定・指導監督
		(2) 多様なコミュニケーション	●各種養成講座の実施　●手話通訳者・要約筆者等の派遣　●点字・音声・ 手話等による情報提供　●重度障害者入院時コミュニケーション支援
		(1) 障害ニーズに応じた対応	●緊急通報装置の設置　●地域生活支援拠点の整備 ●ネット119緊急通報システムの活用
	2. 保健・医療との連携	(1) 保健・医療との連携	●健康相談事業の推進　●訪問指導事業の推進　●健康教育事業の推進　●口腔保健の 推進　●難病患者の療養支援　●精神疾患患者に対する相談体制の充実　●在宅医療 体制の充実　●障害者歯科診療　●在宅難病患者の地域医療　●病院からの地域移行
		(1) 就労に向けた支援	●障害者合同就職面接会　●職場体験機会の提供　●チャレンジ雇用／ 障害のある方への就労支援　●市職員への雇用　●日中活動系サービス
		(2) 就労に関する相談支援	●就労相談及び職場定着支援
見つめる・選ぶ	1. 就労に向けた支援	(3) 工賃向上に向けた支援	●障害者の工賃改善　●優先調達方針に基づく障害者就労施設等からの物品等の調達
		(1) 生涯学習の推進	●社会参加・自立を助ける学習活動
		(2) 文化・芸術活動への支援	●文化・芸術活動の支援　●図書館サービス
	2. 社会参加と多様な学習への支援	(3) スポーツ・レクリエーション活動への支援	●スポーツ・レクリエーション活動の充実　●障害者スポーツ活動への支援の充実
		(1) 多様な変化に対応した社会参加	●遠隔手話通訳対応（タブレット端末を利用）
		(2) 先進技術による支援ツールの活用	●行政サービスの電子申請に向けた取り組み

基本目標	基本方向	施策	施策名
5. 身近な相談窓口の充実と きめ細やかな情報提供	1. 相談・支援体制の充実	(1) 相談・支援体制の充実と きめ細やかな情報提供	●障害者の相談支援体制　●枚方市自立支援協議会　●病院、入所 施設からの地域移行　●地域定着支援　●地域生活支援拠点の整備
	2. 関係機関との連携による支援の充実	(1) 関係機関との連携による支援 の充実	●多様な手法によるわかりやすい情報提供 ●医療的ケア児等支援連絡会議

しょうがいふくしけいかく　だいい　　しょうがいふくしけいかく　だいい　　おも　　き　さいじこう 障害福祉計画（第6期）・障害児福祉計画（第2期）の主な記載事項
しょうがいふくしけいかく　だいい 障害福祉計画（第6期）

### 1. 施設入所者の地域生活への移行

成果目標	目標数値	見込み方法
(1) 施設入所者の地域移行者数	11人	令和元年度末時点の施設入所者180人の6％以上の地域生活への移行と、大阪府が実施した施設入所者等に対する意向調査の結果等を踏まえて設定します。
(2) 施設入所者の削減	3人	令和元年度末時点における施設入所者180人から1.6％以上削減することとして設定します。

### 2. 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

成果目標	目標数値	見込み方法
(1) 令和5年6月末時点の精神病床における1年以上の長期入院患者数	227人	令和5年6月末時点の精神病床における1年以上の長期入院患者数8,688人とされた府域の目標値について、市町村ごとに按分された数値を目標として設定します。

### 3. 地域生活支援拠点等が有する機能の充実

「地域生活への移行や親元からの自立等に係る相談」「一人暮らし、グループホームへの入居等の体験の機会及び場の提供」「ショートステイの利便性・対応力の向上等による緊急時の受入対応体制の確保」「人材の確保・養成・連携等による専門性の確保」「サービス拠点の整備及びコーディネーターの配置等による地域の体制づくり」の5つの機能が求められる地域生活支援拠点等について、令和5年度末までに整備していくとともに、整備後もこれらの機能の充実のため、年1回以上運用状況を検証・検討していきます。

### 4. 福祉施設から一般就労へ向けての取組

成果目標	目標数値	見込み方法
(1) 就労移行支援事業を通じた一般就労への移行数	55人	令和元年度における一般就労への移行実績（1,991人）の1.27倍以上（2,529人） 併せて、就労移行支援1.30倍以上、就労継続支援A型1.26倍以上、就労継続支援B型1.23倍以上という府域の目標値について、市町村ごとに按分された数値を目標として設定します。
(2) 就労継続支援A型事業を通じた一般就労への移行数	31人	
(3) 就労継続支援B型事業を通じた一般就労への移行数	12人	
(4) 就労定着支援事業利用率	7割	令和5年度における就労移行支援事業等を通じた一般就労への移行者のうち7割が就労定着支援事業を利用することを目 標として設定します。
	9割	市内の就労定着支援事業を実施する事業所において、支援を開始した時点で1年後の就労定着率が8割以上の事業所が全体の9割以上となることを目 標として設定します。
(5) 就労継続支援（B型）事業所における平均工賃額	15,000円（月額）	令和元年度工賃（賞金）実績調査において、枚方市内の就労継続支援B型事業所36か所（令和2年3月31日現在）の令和元年度の工賃実績の平均額13,155円に10％乗じた額を上乗せし、目標を設定します。